



ふじ美が原

富士見中学校

考えていきたい「命の大切さ」と「生きるということ」 そして 中体連 皆 大変よく頑張りました

校長講話のお話から

「ついでに生きる」
ついでに

学校長 高山和夫

先月の校長講話では、「電池が切れるまで」という詩集の中から、当時小学校四年生だった宮越由貴奈さんの「命」という詩が紹介されました。長い間長野県立子ども病院での闘病生活の中、精一杯生きてきた由貴奈さんが、亡くなる四ヶ月前に富士見小学校の授業で書き上げたというこの詩からは、直面していることの大きさをゆえに、生きるとはどういうことなのかを考えさせられます。

先月は人権旬間があり、「自分の人権感覚を磨こう」というスローガンのもと、各学年で人権について学び、意識を高めてきました。人権旬間は終わりましたが、今後も、自分の命、人権、仲間の命、人権を大事にしてください。困ったことや悲しいことなど一人で抱え込まず、相談しながら解決をはかっていきましょう。そして、精いっぱい生きるということはどういうことか、皆で考えていきたいものですね。



グローアップタイムのコマより

夕学がはじまりました
自分の学習に活かしたい
フリータイム・
グローアップタイム

六月一日より夕学がはじまりました。どの生徒も真剣に取り組んでいます。今年、昨年度から少し工夫をして、自分で取り組むフリータイム、先生方からプリント教材をもとにポイントを教えていただく、グローアップタイムという二段階で取り組んでいます。

*生徒の生活記録から

今日、夕学(第一回)がありました。前回は違って、グローアップタイム

があつて、みんな同じことをやっている。授業みたいな感覚で先生に質問できたのがとても良いと思った。フリータイムも大切にしていきたい、自分の勉強に活かしていきたいと思った。
(三年男子)

どの部も大変頑張りました
中体連諏訪大会終わる

去る六月十一日、十二日の二日間を中心に、中体連諏訪大会(陸上は南信大会)が行われ、裏面のような結果でした。「優勝」という素晴らしい成果を上げた部もありますし、惜しくも南信大会や県大会への出場を逃した部もあります。しかし、結果はともかく、どの部も皆、大会まで真摯に練習に励み、当日も限界まで一杯頑張りました。その努力を讃えたいと思います。南信大会や県大会へ出場する皆さんは、今度は学校だけでなく、諏訪郡すべての学校の代表となります。その誇りをもって大会に臨んでくれることを期待しています。